

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 25 年 4 月 25 日(木) 19:30～21:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 6 名 欠席委員数 1 名
出席委員の氏名
中村 修／濱田 洋一郎／重田 珠美／柳 ちおり／山田 梨香／岩崎 勇登
欠席委員の氏名
深田 剛
放送事業者側出席者名
麓 憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／盛島 拓史／元井 庸介／上野 紋／渡武 志／渡 陽子／
柿岡 朱香／川原 知恵／宮田 愛

- 4 議題
審議(夕方フレンドについて)

- 5 議事の概要
(1) あまみエフエム、および番組審議会についての説明、番組審議委員の自己紹介など
(2) 審議(『あまねっとたるだー』について)
(3) 次回の審議議題について

- 6 審議内容
(1) あまみエフエム、および番組審議会についての説明、番組審議委員の自己紹介など
ー放送局長 麓より
あまみエフエムの概要についての説明
ー放送局スタッフ 自己紹介
ー放送局 丸田より
 - ・ 番組審議会についての説明
 - ・ 欠席委員についての説明ー番組審議委員の、委員長、副委員長の選出
委員長に 深田 剛氏、副委員長に 中村 修氏が満場一致で選任された。
ー番組審議委員 自己紹介

- (2) 審議(『あまねっとたるだー』について)

ー放送局 上野より

月曜から土曜までの、朝 7 時 30 分から、スカンマーワイドという番組をしています。その中で、朝 8 時 10 分頃に、毎日群島のどなたかに電話を繋いで、「今朝(の天気など)はこうですよ」とか、「最近うちの島ではこんなですよ」といったような話題を届けてもらおう、というコーナーです。開局当時は、団体数は今ほど多くは無かったということを聞いていますが、NPO 法人、行政の機関、あとは消防の皆さんなどで、今は 28 の団体に参加して頂いています。

消防から各市役所や、町の役場、あとは NPO 法人としては奄美野鳥の会から鳥の話題や、そういった季節感のある話題など織り交ぜながら、あと野生生物保護センターのいろいろ島にまつわることを伺っている状況です。事前に皆さんにシートをお渡しした中にも書いてありましたが、(あまみエフエムの放送可能)エリアは奄美市内(と大和村)なのですが、奄美大島以外の方に繋いでいる様子を、奄美市(および大和村)の皆さんに聞いてもらおう、というスタンスで始めているので、その情景についてや、パーソナリティーと電話の向こう側とのやり取りを聞いて、どう思われるかとか、あと、最近よく話題にされることですが、例えば徳之島の出演者の方が奄美大島のことを呼ぶ時に、「奄美」なのか「大島」なのかなど、聞いた感じはどうかという、些細なことではありますが、そういったところも伺えたらなと思っています。

中村副委員長

今年はこちらからじめ、「審議委員の皆さんにお尋ねしたいポイント」として、4~5点課題を頂いています。その課題を含めて、番組を聴いた感想や、また組織に関する意見などを一人一人、お話しいただきたいと思います。あらかじめ配布された「あまねつとたるだ〜」の CD に、5本入っていましたが、そちらについて、突然ですが、柳さんから宜しいでしょうか。

柳委員

呼び方についてですが、徳之島出身の方がまわりにいるので、数名に聞いてみました。「大島」とか、「奄美」って言われると少し違和感があるとのことでした。私と同世代の方ですが、どういう風と呼んでいるのか聞いたら、やはり「名瀬」と。また、龍郷や笠利のことも全部含めて、「名瀬」っていうみたいです。だから「大島」とか「奄美」と言っても、「こっちはそうだけど」といった感じになるようです。それがまた、年代が変わると違ってくるようで、「名瀬」と全部まとめるみたいですよ。

あと掛け合いの雰囲気ですけど、私は(それぞれのパーソナリティーで)多少の違いがあっていると思います。それぞれの個性が出ていて、みんな同じより、それが楽しいかなと思います。

あと、その他に聞きたい団体として、私は病院とか医療機関がいいなと。子どもが今高校生になったので、あまり関わるのが無いのですが、子どもさんが小さい方などは、やはり医療の情報などがあつたらいいなという声も聞くので、診察時間とか、流行っている病気の情報など、あればいいなと思います。以上です。

中村副委員長

今、(すでに参加している機関のなかで)医療機関に近いのは消防ぐらいでしょうか。

一放送局 上野

あまねつとたるだ〜の中では、定期的には消防、救急、大島支庁組合の皆さんに、分署ごとに毎月ローテーションで、今日は笠利、来月は龍郷、来月は瀬戸内というふうに回して出させていただいています。通常 28 のサイクルで回ってはいらんですけど、特例的に、30 日や 29 日が平日にあたった場合は自分たちで選んで、お願いすることもあります。例えばインフルエンザが流行っているときは保健所に電話してみるとか。そういうことはこれまでも例外的にはありますが、やっぱり「定期的にあつたほうがいい」というご意見はとてもありがたいです。

中村副委員 各役場は全部各役場職員ですか。

上野　　そうですね、それと観光協会の方がでてらっしゃるところもあります。

中村副委員長　　ありがとうございました。では重田さんお願い致します。

重田委員

はい。奄美の呼び方については、私たちはこちらに住んでいるけれど、喜界、徳之島、沖永良部、与論の人達って「奄美」って言われてどう感じるのかなっというのはちょっと思ってました。さっき、柳さんが「名瀬」ってひとくりにするのがすごく分かるなと思ったのが、自分も青年団活動をしていて、伊仙の青年団の人達と去年から交流があって仲良くさせて頂いてるのですが、伊仙の方達が住用の私たちと、今、住用はすごい人数が増えているのですが、住用の人も笠利の人も一緒にいるのに「名瀬の青年団は」って言うんですよ。「うちらは名瀬じゃないよ」って思うのですが。そこに浦上がいる、笠利と住用は浦上より人数が多くても、やっぱりうちらのこと名瀬の青年団はって伊仙の人達が言うので、(先ほどの柳委員の意見は)とても納得がいくなと思いました。

私も島の歴史のことなどは詳しくはないのですが、自分が昨年、NPO 法人島尾敏雄顕彰会に2ヶ月くらい関わっていたのですが、島尾敏雄の本の中で彼が、奄美の群島の中の呼び方についていろいろ疑問があるということが、どこかの本か新聞に載っていたんです。あの方は内地から来た方だったので、「島の人達、実際住んでる人達がどう思っているのか」というところから、歴史的に考えると。ここに住んでいる私たちは群島に見えるけど、やっぱり島々の個性があって特色があって、それぞれのシマで違うので、そういうところをまとめて「奄美」と呼ぶのって私もどうなのかなと、考えたりはしました。だから私はここはちょっと難しいなと思うポイントで、自分の意見というのはあまり言い切れないんですけど、すごく自分も「ああそうだな」と一緒になって疑問に思ったところでした。

話題とか、そのシーズンに合っているかというのは私は合っていると思いますし、いろんな事業所さんとのやり取りも、自分も出勤中に聴けた時などはよくこの番組は聴いてたのですが、聴いていて知らないところの様子をいろいろと知ることができるのがすごく面白いなと思っていました。掛け合いの雰囲気なども、私もパーソナリティーさんそれぞれの個性があっていいと思うし、この番組の始まりの音楽がすごく好きで、あの曲を聴いたときに最初ちょっと「プツ」てなってしまう、その雰囲気がなんか親しみを持って聴けるっていうか。どこかで聴いたことある曲がアレンジされているのがすごく親近感が沸くんだなって、面白いなって思いました。

あとは、離島ともされていたので、このCDの中では、徳之島の天城町の回があって、実際聴いていて、なんか天城町がすごく面白くなって思えて。いろんな話題があったので。天城町のことはやっぱりこっちにいたら分からないので、聴いて、「こんなこともあるんだ」って思ったら、行きたくなりますね、なんか。今度徳之島に行く機会があったら天城は行ってみたいなって思いました。以上です。

濱田委員

奄美大島の呼び方というところで、皆さんおっしゃったように難しいなというのがありまして、「奄美」とだけ言ったら、群島の総称みたいな感じでみんなが受け取ってるだろうと思うんだけど、「大島」って言ったら内地から見て「大島」。県本土の人から見て、「大島」ってよく言うね。「本島」っていうか。まあ、「本島」っていう言葉もどうかっていう話ですが。どうしてかという、やっぱり県の大会ってなんか、県下一周駅伝はみんな「大島」チームじゃがな(訳:でしょう?)。「大島」なんとか。

だからそんなイメージなんだろうねと思って、今おっしゃったように、どういう風に言うかっていうのはなかなか難しいので、とはいえ「名瀬」のひとくくりではやっぱりまずいと思うし。で、笠利、住用、名瀬で合併もすると

ということからすれば、この際、あまみエフエムでは、そのいわゆる「本島」と言われるようなところ、つまり「奄美群島」の中の「奄美大島」と言われているところは「奄美大島」と表現しましょうと、もう言しましょう、そのまんま使しましょうとか言うことを、逆に決めたほうがいいのかなど。結論として「奄美大島」と言ったほうがいいんじゃないですか、ということに私としては至りました。そして、やっぱり「奄美」と言えば「奄美群島」の総称というような、そういうイメージですね。

一 放送局 元井

パーソナリティーが自分たちの説明をするときに「そちらは晴れてますか？」といった感じで聞いて、でパーソナリティーが、自分たちの「こちら奄美は晴れてるんです」というようなことが何回かあって、で、うちのスタジオのこの近辺を言うときに、何で表現したらいいかなっていうのが結構悩むところだったのですが。今の流れでいくと、ここからやってるから「名瀬」でもいいと思いますか？

濱田委員

それでもいいんじゃない。やんごスタジオは非常にいいお天気ですとか。

(一数名の委員)狭いほうがいいよね。狭いほうがかえっていい。

要は、末広市場ディ！スタジオもあり、やんごスタジオもありっていうことで、はっきり「ここから発信してますよ」っていう、ここで今しゃべっていますっていうのは、きちっと伝えたほうがいいのかもね。

一その他、以下のような意見がでる。

- ・ 天気などのときは、大きいくりよりも、実際にいるそのポイントの表現がいいなって思いましたね。
- ・ 天気なんかのときはまさしくそうですね、「大島今日晴れです」って言って、まず笠利は雨が降るから。龍郷も。

濱田委員

だから、番組の中でも、西栄一郎(出演者)がしゃべっているときに、泰史(あまみエフエムパーソナリティー丸田)が「笠利はどうですか」って言ったら、西栄一郎が「笠利はこういうお天気ですよ」って言ってるから、それはその場所が分かるというところで、まあこの、ポイントの一番最初の課題に関しては、僕の意見としてはそういうことかなと、このお題であれば、という。まあ、徳之島に電話した場合の、今は「奄美大島だ」という立ち位置だと言えば、なかなか難しいんだろうけどやっぱり「奄美大島」ってこういう場合は、言ったほうがいいのかなどという話ですね。で、例えば徳之島は「徳之島」、永良部は「永良部」、「沖永良部」と言ったほうがいいのか、与論も。で、「加計呂麻島」と言ってもらったりすればいいのではないかと、という思いです。

それと、パーソナリティーの掛け合い、雰囲気はどうかというのは、一番最初におしゃったように個性が生かされてこそそのラジオパーソナリティーだということなので、それぞれのパーソナリティーの、それぞれのいいところ、というところで、今のまんまでいいんだろうと思います。それから、CD を聴かせて頂いたときに、少し気になったのが、番組のコーナーの尺がやはり話が弾んだりで 10 分越えの部分とか、栄一郎と泰史がしゃべってるときは 11 分 26 秒だったかな。で、他にも 8 分 43 秒などがあるので、まあそのあたりは話題が豊富化されてどんどん話が進んでいったら・・・というところもあるので、制作する方としてはどうでしょうか。

一 放送局 元井 このコーナーに関しては無いですね。

濱田委員

だったら、それはそれでいいんだと思います。で、全体を通して、感じたのは催し物やイベントを紹介するというのがメインになるということで、場合にもよるんだけど、例えばそれぞれのパーソナリティーが、最後にもう一回メインで話し手が言いたいことを紹介して、最後にパーソナリティーがそれについてのコメントを添えるといったこと、そういう作り込みなどを平均的にやったほうが、そのコーナーの、まとまりがあつていいのかなと思ったりしました。他のパーソナリティーは、年度末でたくさんあるイベントをまとめてさらっと総括するような形でのコメントを添えてるっていうのもありましたが、それはそれでいいと思うんだけど、やはり全体的な構成というか、そういった面では出演してくれている人が一番アピールしたいことなどが中にあると思うので、それを復唱したりしたうえで、パーソナリティーなりのちょっとしたコメントを添えるというのがあればいいのかな、というふうに思いましたね。以上です。

中村副委員長

ちょっと気になったんですがこれは、始まる前の打ち合わせっていうのはどの程度やっているものなんですか。

一放送局 上野

出演者の方とは、私がやり取りをして事前に原稿というか、こういう内容で、いつ何があつて目玉はこれといったシートをメールやファックスなどで頂いて、どの出演者でも私が打ち合わせをしているというかたちです。

中村副委員

それでは、もともとどんな話をするかなどはわかっているのですね。

一放送局 上野

はい、で、向こうが乗かって話してくださるときと、普通に流してく、どちらでもいいとは思いますが。もちろん本番だけでこぼれ話が出てくるときもあります。

岩崎委員

「奄美大島」っていう呼び方についてはですね、青年会議所に入っているんですけど、まあ沖永良部とか与論、それから徳之島の方はやっぱり「奄美大島」っていうので、本島のほうを呼びますね。で、全体のことは奄美というので、洋一郎兄(濱田委員のこと)がおっしゃったようなかたちだとは思いますが。まあおっしゃいましたように、そういうポイントポイントであっても伝わりやすいので、それは臨機応変にやって頂いたらいいのかなと思いました。

で、今回のパーソナリティーの中で一番僕が好きだったのは、中原優子さんの入り方といいますか、方言もそうですし、奥田さん(出演者)をよくご存知なのですかね、なんか相手を包み込むようなかたちで方言も親しみやすいですし、聴いていて朝から晴々しいといいますか、気持ちのいいような入り方なんですね、ああいうのがいいなと。ただこれは相手によっているんなやり方があるので、その辺は難しいのかなと思いました。

あと、パーソナリティーについて、この聴き方をすると大きな差が無いのかということで、じゃあ逆に、大きな差があつてはダメなのかということで、あまみエフエムさんの、そのスタンスと言いますか、そういうのをお聞きしたいです。それであれば逆にそのアナウンスのマニュアルを作ったりなど、いろんな面でやるべきだと思うのですが。その辺はいかがですかね。

一放送局 麓

まあ、「アナウンサー」ではなく「パーソナリティー」ということで、洋一郎兄がおっしゃったように、ある程度の、原稿読むだけではなく、その人の人間味だったり、感情を含めてですね、そういった個性が現れるぐらいにリスナーさんが共感だったり、情緒を感じてもらえればなと思っていますので、コーナーの進行の、スタイルというか、そういったものはある程度整理したいんですけども。中身において、トークのコミュニケーションのスタイルというのは、おのおのあってもいいかなとは思っています。

岩崎委員

このコーナーって、「ゆふいニングアワー(あまみエフエムタ方の生放送)」の中のコーナー、「夕方フレンド」とかぶってるような感じもしないでもない気がするんですけど。28 団体とかそういうので決めていらっしゃるのはいいのですが、そのコーナーと似通ってるので、そうじゃなくてやっぱり朝は朝で違う、もう少し特色なり、そういうのを出したら「ゆふいニングアワー」との差別化と言いますかね、視聴者も飽きないでもっと魅力を感じられる、興味を持てるのかなって思いました。以上です。

山田委員

呼び方に関しては、もう決まったかたちになってきているのでいいのかな。ただ私は自分のところを呼ぶときに、まあ「笠利」とも言うのですが、だいたい基本「シマ」って呼ぶんですね。「自分のシマは～」とか。でも離島の方は逆には「島」って呼ばれることにものすごく嫌がるっていうか、強い、こう、反発みたいなのを持つてるものがあるので、まあ言葉ってすごい難しいなって思ってるんですけど、まあ実際、奄美市なんですけど、正直、奄美市ってくらわれるのも多分、住用とか笠利とか、名瀬の人達にしても、「奄美市」っていう一つのくりよりは、名瀬は名瀬、笠利は笠利、住用は住用っていう自分の地元に関して、それなりの思いがあるんじゃないかなって思うので、呼び方は先ほど言ったみたいに、自分の今放送してる場所を中心というかたちで、統一するなら「奄美大島」でいいのかなって思いました。

あと、シーズンに合っているかということについて、その団体とかにも、公共団体というか消防や役場管轄っていうこともあって、多分そのシーズンにイベントを企画してる人達がほとんどなので、「そのシーズンに」というよりも、「自分のイベントの紹介」っていうようなかたちで入っているんじゃないかなって認識でいつもラジオを聴いていて、シーズンにあっているかどうかというよりも、「一番近いイベントの朝市の紹介なのかな」っていう感じで私は聴いてるので、「このシーズンにあってるか」ということは、それほど気になることじゃないのかなって思いました。

掛け合いとか雰囲気に関してはなんですけど、今はだいぶ落ち着いたのですが、市場のラジオができてすぐだと思うのですが、しばらく、音が急に大きくなったり急に小さくなったり、しゃべっているパーソナリティーの声はものすごくはっきり聞こえるのに、電話で話している相手の声がすごく小さく聞こえたりしたことがありました。

自分の職場では、それぞれが調節出来るものではなくて、全体で流しているので、急に音がパーンと大きくなると、もうみんなびっくりして音を小さくしたり、結局ラジオ流しっぱなしで仕事一日してると、結構手間っていうか、音がこう、統一されてくれたらいいのに、音が瀬戸内(エフエムせとうちの番組が流れる時間帯)とか宇検(エフエムうけんの番組が流れる時間帯)になったら急に大きくなって、奄美(あまみエフエム)に戻ったら急に小さくなるとする度に、音をいちいち調節していました。あとは、チェンジしなくなって、小さな音のままで通してしまうもったいないなど。結局音が聴こえない、ただ音がなんとなく聴こえるかな、ぐらいでお客さんなどにも聴こえてたりしていました。それがパソコンからひいて鳴らしている支店などもあるので、音に関してはもう少し統一、いろいろなどところと話して統一してもらえたら、聴く側も一日気持ちよく聴けるのかなっていうのはありました。

その他のお話ですが、私は朝の7時半から夕方6時半くらいまで職場にいますので、へたすると再放送が聴けるのですが、とすると一日同じラジオを何回も聴くっていうのが……。出来たら再放送の曜日を変えるっていうのも(検討してほしい)。私たちは昭和の後半時代なので、火曜日になると、朝からまったく歌謡曲が流れると、朝からこういう感じ(眠たいジェスチャーと共に)になって、夕方やっと仕事が終わって落ち着いた頃にまた歌謡曲が流れる(昼に放送した歌謡曲を流す番組「甦る。こころの一曲」の再放送があるため)ので。

私は木曜日のおるみさん(木曜日の「おるみさんのおばちゃんねる」という番組)が一番好きなんですけど、なんですかね、10時から10時半ぐらいの、曲を流す時間帯から、火曜日などは歌謡曲とか、昭和の始めからちょっとその前ぐらいの人達が喜ぶような曲で一日まとめているのが、私には若干苦しいときがあります。それだったら曜日を臨機応変に分けてくれたほうが飽きも来ないし、再放送を聴いても、「聞き逃したのにラッキー」くらいの気持ちで聴けるのかなと思います。やっぱり今はですね、全国でも世界で聴けるし、私は先週、鹿児島に行ったのですが、鹿児島の友達も車で毎日ラジオを聴いているので、結構再放送を聴く確率が高くなると、前は久しぶりにラジオを聴くと嬉しいと思っていたんですけど、毎日ラジオを聴く環境になると、やっぱり再放送が同じ日に何回もあるとちょっと、「ああ別の聴きたいな」っていう気持ちになるので、再放送の曜日に関しては少しずらして頂けると、聴く側は飽きないっていうか楽しめるのかなって思いました。以上です。

中村福委員長

今、山田さんからいろんな意見が出ましたので、いくつか今のうちにまとめたいのですが、今の再放送の件ですけれども、こういったことは5月の改変では考慮されてるのでしょうか。

一放送局 丸田

そうですね、年に二度、大きく改変の時期を迎えるのですが、番組の送出の形を少しずつ見直していけたらというところで、5月の改変でまた大きく番組の移動などを計画しております。再放送について、山田さんがおっしゃったのは、曲だけが流れている時間ということでしょうか。

一放送局 元井

1時代の番組が7時にまた、ということですね。

山田委員

朝と夜に同じ番組を二回するじゃないですか、おるみさんもそうだし、こころの一曲、泉清次さんの番組もそうだし、他にもありますが、同じ日に同じ人が夕方に来るっていうのは逆にもったいないっていうか、まあ曜日が変えられたらなど。

一放送局 元井

実はこうなる前は(曜日が)ズレまくっていたんですが、そうすると「何曜日にどの番組が流れるか分からん」、「覚えきらん」っていう意見が多かったということと、3~4日(曜日が)ズレると、言ってることが、再放送のときにはもう終わってたりという話題の差があって、一年前くらい前に今の形にきれいに揃えたということがあります。

中村副委員

山田さんはやっぱりヘビーユーザーならではの(意見ですね)。自分なんかはそうまで思わなかったんですけど、やっぱり毎日ずうっと朝から聴いてる方はたしかに重たいっていうのはありますよね。

山田委員

重たっていうか、もったいないなって思うんですね。まあ、逆に、これは音楽で思ってるんですけど、濱田まーぼ兄の(あまみエフエムの番組「はまだまーぼのあったんだまドゥシ！」)は再放送が 3~4 回ありますよね、私自分も出たから思うんですけど、また自分が流れてる、なんかそれは多いうって思ったりするので、なんか逆に、そう思うと、まあその日のほうにも思いますが。その再放送が、結構 朝、前半はこう生放送みたいな感じで、パッと新しい感じしてくるけど、それが夕方にかけて同じのがくりかえされるっていうのが・・・。

あと、今日それこそ言われたのが、夕方の 4 時に再放送であれがくるじゃないですか、朗読番組。島尾敏雄の(あまみエフエムの番組「月曜文学散歩」)が。島尾敏雄が嫌いではないですが、もう「死の淵」とかめっちゃ重い言葉で、4 時ぐらいから、「妻は逝った」とか・・・。すごくいい作文なんだろうけど、もうラジオが耳に入ると仕事しながらものすごい自分の気持ちがこう、落ち込んでいくっていうか、夜の 10 時とかの時間で聴くと、本当にいい夜をお過ごしくださいみたいな、そのまま寝るぞっていう感じなんですけど、夕方の 4 時とかになると、まあこれが朝でもすごい大変だと思うんですけど、木曜日の 4 時がくると気持ちが若干”あ、また来た”みたいな。本当にその放送が嫌いじゃないんですけど、疲れてへトへトなところに、こう“トドメの一撃”的な、4 時が。まあ別に、でも今日聞いた人は、その番組がすごい好きで、その CD ありませんかって一回エフエムの人に聞いたことがあるって言ってたんですね。だからやっぱり人それぞれ好き好きなんだなってしみじみ思って、だから何がいいか悪いかっていうんじゃないんですけど、もう私的には火曜日はどっかでちょっと若い人の気持ちもいれてくれたら助かるなと思いました。一番眠たい 1~2 時のお昼過ぎた頃に「こころの一曲」が流れて、目を開けるのに必死。分かります？

柳委員

分かります！なんとなく運転してて昼の番組をもうちょっと充実してもらいたいなと、もう眠くて眠くて、、、。

山田委員

もう火曜日が一番めっちゃ心地いいっていうか、泉さんの声もまた心地いいからあの人がしゃべっていると一瞬飛ぶっていうか。それがこの朝の 10 時とかから結局ずっと歌謡曲とか新民謡とかで・・・。

一放送局 元井

それはぜんぜん変更出来るところです。

中村副委員

いい意見ですね、本当に。ちなみにさっき市場の放送が音が揺れて聞きづらかったこと、それは職場ですとお客さんにも聴こえるように、流しているんですか。

山田委員

はい、お客さんに聴こえるように流してるんですけど、結局音がすごい大きくなると、私たちが名前を呼んでる名前が聴こえないというか、それで音を下げると今度はそのおしゃべりする声がすごい小っちゃくなったりして、とと思ってもっと音を上げると、今度は時間帯が瀬戸内とか宇検に変わるじゃないですか、瀬戸内とか宇検の音がまたすごい大きくて、3 時前にあまみエフエムに変わってまた音が小さくなってると、ボリュームの変更がなかなか難しく、今はだいぶ落ち着いたんですけど。

中村副委員長

制作のほうからその点はなにか。

一放送局 元井

最初の方は確かに、バランスがとれなくて、でも今も完全にとれてるとは言えないんですね。最終的に機器を入れたりなどすることも計画にはあがっているのですけれども、ちゃんとこれから計画立てて、また揃えていけるようにしないと・・・。

山田委員

ここは統一されていても、電話で「信金 GOOD TIME(お昼の生放送内のクイズコーナー、電話で回答者と話し、答えてもらうもの)」で思ったんですけど、しゃべってる側はどれぐらいの声で自分の声が外にでてるか分からないので、やっぱり緊張するっていうか、ちょっと引くんですよね声が。だから、「音の調整は出来てるので、普通に受話器に近づけてしゃべってください」みたいなことを最初の打ち合わせで言ってくれてたら、多分いいのかなって。前にラジオ番組を取ったときにも自分の声が大きいからと思って私が若干引くと、マイクは調整してるから近づいてみたいと言われて、でも笑うときにやっぱり声が大きいと思って後ろに引いて笑ったりとか、自分でいろいろ動くから、そういうところでやっぱり電話を受け取る側も、まあ慣れてる人はいいんですけどね、初めての人は多分ちょっと、、、

重田委員 そっか、特に生放送だもんね、収録してとかだったら編集してもらえりけど、生だからね。

中村副委員長 ありがとうございます。自分の身近な中では一番のヘビーユーザーではないかと思いました。

一放送局 元井 多分職員ぐらい聴いてますね。

中村副委員長 そういった職場は多いのでしょうか、聴き流してるみたいなの。

一放送局 元井 郵便局で流されてるところもあるようです。

一放送局 麓 信組さんもですね。

中村副委員長

最後になりました、私のほうからは2つあります。

自分はみなさんにお尋ねしたいポイントとか振ったわりには、自分は全くその辺を全くスルーして、考えて来たのですが、自分もみなさんと同じようにスカンマーワイドは朝、出勤の時間に車の中でいつも聴いています。4人のパーソナリティーでやっているのですが、毎朝今日はだれかなと楽しみにして聴いてて、今、自分の職場が女房と近いので、一緒に出勤して朝、車乗ってつけるときに今日は誰かなっていうのをおみくじのような感じで楽しんでます。自分なんかの中では大吉が誰々で、今日はいいことあるぞっていう、そして誰々が中吉で、今日はまあまあかなってことで、まあ残りの方が一名の方が大凶ですって、ああ今日は最悪みたいなの(笑)、でもそう話しながらも、大凶のときの誰かが一番車の中で会話が盛り上がったりして、楽しく毎朝やってます。またそんなことが出来るっていうのも、さっきも話がありました、パーソナリティーそれぞれの個性があって、それぞれに楽しめる、だからこそ「今日は誰かな」ってみんな思うんじゃないかな。それはみなさん楽しみにして、先ほど代表が言ったように「アナウンサーじゃない」ってはっきりおっしゃいましたので、本当にマニュアルがある訳じゃない、それぞれのスタンスで楽しく聴かせて・・・

その中で、自分はその5つのそれぞれの番組の感想を書いてきました。上野さんの最初のワクイさんとのやり取りは何よりも最初の本題にはいる前のトークがすごくよかったなど、いきなり本題に入らずに、その四季のことだと

か、島の自然のこととか、島の飲み会のこととか、いろいろそういったのを上手く盛り上げて、そこからさらっと本題に入っていくわけで、なんか落語のマクラ聞くようなぐらいに良かったなと思います。で、褒めるのはここまでですが。泰史くんの、大島地区消防組合の地域総合型密着集団災害訓練の云々っていうのは、なんかマニアックなもので、一部の人間だけの訓練だったり、すでにもう 60 名の定員に 80 名来てるとか、定員オーバーしてるのに、これを一般に告知する必要があるのかな？とか聞きながら少し思いました。それと結いの里テレビ、ツルエリカさん、途中で音が大きくなったり小さくなったりして、すごく聞きづらくなってストレスを感じました。

それと、最後の奥田さん、奥田さんのことを普段から知ってるから逆になんだか丁寧過ぎて、営業トークっぽくなってしまって、もっとあの人だったら島口使ったり、口語体でざっくばらんに話してもらったほうがかえって、雰囲気は伝わるんじゃないかな、ちょっと丁寧過ぎないかな、と思いました。いろいろあってもいいかなと。でもいつも若い子ばかりなのに、たまにはああやって次長・局長クラスの方がでると、少し重みがあってそれはそれでね、、、私に関しては以上で。

丸田さんのほうで、総括したそちらからのお話とかがあれば。

一放送局 丸田

朝の放送の中で、私たちパーソナリティーは、生でいろんな話をする事が出来ますが、それ以外の声というところでは、まだ生の声が反映されていなかったということもあって、私たち以外の声が流れるようなところがあったらいいね、いろんなところの朝の様子なども伺いながら、というところでのコーナースタートではあったわけなんです。

その他のものに関しては収録をしていたり、取材に行ったりで、作られたものを落とし込むというような朝の彩りの仕方をしていたところで、いろいろなところと繋がりたい、天気にしても何にしても違うし、あとどんな活動をするのかも知りたいっていうところでの、橋渡しの役目でこのコーナーを作りました。

それで、今ご意見をいただいたように、これが本当に一般の方に必要な情報なのかと言われると、違う情報も入ってはきますよね、ただそれは情報として、ではなく、そういう活動をしているという紹介で終わってもいいのかなと、今お話をご意見を頂きながら思ったところでもありました。そのほかに今、私達が思うところでは観光庁、行政、その他 NPO さんとかですね、というところにもお話、お声かけさせて頂いてるんですけど、是非、みなさんから、こういったところは電話繋いだことある？とかいうようなご意見も頂ければ嬉しいかなと思っています。今回、28 パターンでなくて本当にその中の一週間の、もう本当に 4 月のこの第 2 週の一週間だけをお届けしたかたちではありますが。

濱田委員

さっきどなたかから話がありましたが、医療情報だったりどんな病気が流行ってるとか、そういう、暮らしのお役立ち情報みたいなとき、あまねっとたるだ〜で誰かに電話をしてっていうのも、何回かのうち一回はあってもいいのかもですね。だいたいイベントだったりとか、地域のこう、元気イベントというか、アピールというのがベースにあるんだけど、お役立ち情報みたいなものがあつたら少し幅が広がるのかなと、議論を聞いて思っていました。で、またそこからパーソナリティーの話になるんだけど、その番組の入り、導入部分はみんな上手だと思うわけよ。だからその繋がりだとか、そこら辺はいいし、ワン(方言訳:僕)は渡陽子がすごいなって思ったのは、出演者(宇検村)のパーソナルデータに食い込んでいくわけよ。これは渡陽子にしか出来らんだろ。田検(宇検村の集落名)に特化してグイグイいってるなこれって。これはもう思わず拍手してしまいましたね。

一放送局 渡

一応、宇検村の人達には深入りせんように気をつけて、名瀬の人っていう感じに接するようしているんですけど…。(一同笑)

濱田委員

あと、タイトルっていうかコーナー名の「あまねっとたるだ〜」って、やっぱよくよく見るといいだっか付けたよや(方言訳:いい具合につけたよね)って思うよ。あまみネット、誰だ一ってゆう、あまみネット今日は誰っていう、素晴らしいって思いましたね。

山田委員

濱田さんの話を聞いて、私もこれ見て「これこういう意味だったんだ」って思ったんですけど、で、さっき私のその再放送に関しての意見もあって思ったのが、こういうもの(番組表)の大きいポスターとかを、いろんなところで貼ったりとか多分していない、初めて見たんですよこれ。だからこういうのを例えばこの信用組合さんとか全労災とか秋葉屋さんとか、(番組表に名前が)入ってる場所、信用金庫さんもだし、そういうところに配布して、その仕事場とかで貼ってもらったりすると、多分一週間のメニューが来たお客さんとかも分かるし、そしたら、あ、自分これ聴きたかったのにとか、あるかもしれないですね。

一放送局 元井 一いつ放送しているかわからなかったものがね。

山田委員

そうそう、で私は今聞くとすごいヘビーなほうなんだなって思ったんですけど、もう私、一週間のメニューをなんとなく感じで把握してるので、あ、来た来た今日は木曜日だとか、そういう感じなので、こういう一週間のメニューがあったら、その協賛してくれているところとか(わかりますよね)。で、あと各地区の青年団とか、そういうところでアピールを、メニューっていうか一週間の流れのアピールをしたらもっといいのかなって。多分すごく聴いてる人は、会員以上に聴いてる人の量はかなり多いと思うんですよ、いろんなところで。だからもったいないなって思って。今日は再放送がなぜそうなったのかっていうのが聞けたので、私これからこういう話があったら…いやいやそういう理由があったとしても…。(一同笑)

実家が、山の下なので、ラジオが全然入らないんですね、車に乗ったときじゃないと。だから信用組合に入って毎日聴けるようになって。

重田委員

質問ですけど、番組表の、ツイッターの横のQRコード、これはそのままサイトにアクセス出来るんですよ、サイトっていうかホームページに入るのですか。

一放送局 沖元 ツwitterのアカウントです。ツwitterのサイトにそのままいけるっていう。

重田委員

なんか今いいですよ。私スマホで聴いてるんですよ。ディを。家にパソコンが無くて、で名瀬から美里に帰るまでに絶対山で、トンネル4つ越えるので、トンネルの中で絶対ザーって雑音なるんですよ。その度にCDに切り替えるか、スマホでアプリをインストールして、そしたら聴けるんですよ、それでね、だけど時差っていうか、トンネルちょっとズレがあるから実際の放送とスマホで聴くのとズレがあるけど、家に帰ってもスマホ持ちながらポッケに入れながらこうラジオを最大音量で家に入っていくと母が「何それ」っていうんですけど、家でも聴ける。

中村副委員長 トンネルの中でも聴けるの？au電波入ってるわけ？携帯の。

重田委員 トンネルの中でも聴けますよ。スマホ、美里までは聴けますね。

中村副委員長 4つのトンネルとも？トンネル途切れんわけ？

重田委員 うん。トンネルで確か途切れないですね。まあ音量大きくしてしまうと、トンネルだったらザーってすごい騒音が入るから小さくしか聴こえないけど、もう前のメーターのところに置いて裏側にしてスピーカーこっちにして、で、ちょっと近づけて聴いています。自分もはまだまーぼさんの番組に出たときに、4回放送されるんですよね、だからこうやって載ってるから、ネットでも聴けるっていうのを紙にあってもいいのかなって思いました。あ、裏に書いてるね。

岩崎委員

ちょっと一点だけですね、番組と関係ないんですけど、電話のコーナーが多くてですね、電話代ももったいないんですけど、その対策とかはどんな風に・・・経費削減といえば、例えばじゃあソフトバンク持ってる方がいらしたら、従業員の方がソフトバンクで電話したら無料ですよ。なんか、、せこいですか。

一放送局 沖元 実際、電話代はすごいかかってますね。

中村副委員長

それでは今日の議題1についてはこの辺で締めさせていただいて宜しいでしょうか。それでは議題2に参ります。その他について、あまみエフエムさんに質問など、また、自由意見で構いませんので、フリートークの発言で構いませんから、おっしゃりたいことがありましたら、、

山田委員

私いいですか、これ次(次回の番組審議会のお題「英会話のOVA」)のですよ、これに引っかかっているんですけど、自分は島唄をちょっとやってたので、すごい気になるのが方言なんですよ。で、島口どうどうく(コーナー名)の日とかいろいろあって、で、私が「信金 GOOD TIME」出たときも「島の方言使わないんですか？」とかみたいなのすごい言われたんですけど、聴くことは出来るんですけど、実際私たちが聴いている方言って、上から下に伝える方言ばかりで、下から上に伝える方言ってなかなか使わないんですよ。自分たちの世代よりも下の人たちが自分たちに対してそういう言葉を使うことがないので、私たちが聴く方言は親とかじいちゃんばあちゃんが私たちに向かって使う方言、それに自分の親が、その親に向かってしゃべっている方言とかも、結局タメ口って言ったらいけないんですけど、近い言葉で、本当に目上に対して敬う言葉の方言って言うのを聞いて、聞く機会っていうのがないんですよ、実際に。で、そういう中で、まあそういう方言を沢山使おうっていう意欲をすごい見えるんですけど、自分たちが使っている方言が、間違っ使っているのに、気づける人はいんですよ、「あれ、これは敬い語じゃないよねとか、丁寧語じゃないよね」って気づく人はいんですよ。でも気づけない人が、自分も方言使いたいって思ってこのラジオをずっと聴いてると、それがちゃんとした方言なのかってことが、多分今からの世代は特に難しく、私よりも5つ下の子が「いそしゃ(磯者 方言訳:漁師)」を知らなかったんですよ。「いそしゃ」なんて本当にメジャーな方言っていうか単語なのに、「いそしゃ」ってことが分からないっていう世代のこのラジオを聴いて育っていく今の子どもたちが、やっぱり方言っていうものを今から使っていこうっていう、これからの時代に、あまみエフエムさんが「島の方言を残していこう」っていう意欲が見えるので分かるんですけど、私が一週間聴いて、方言として成り立っているのは、島ユムタ伝える会のおばちゃんたちがその新聞の話題をしゃべっているときっていうのは、近いながらもお互いちょっと敬意を示してるっていうか、遠慮しいしいしゃべってるので、お互い丁寧語で会話が成り立っているんですよ。だからタメ口でもない、かと言ってものすごいこう上に対

して尊敬語でもないっていうまあほどよいくいい距離の会話を使ってるんですけど、やっぱりそれぐらいの方言を使うってなかなか難しいなどは思うんですが、やっぱり今さっきも言ったけど、すごい数の人が多分このラジオを聴いてるので、もしパーソナリティーの方も、その言葉を使っていこうと思うのであれば、もうちょっと言葉の方言に関しては、訛りっていうのはその土地土地の独特のイントネーションですよ、笠利は笠利の訛り、宇検は宇検の訛り、訛りと方言は全然違うのでその差を間違っちゃいけないなってすごい感じて、だから聴き取ることは出来るけど自分がしゃべれないのは、自分がそれがちゃんとした丁寧語なのかっていうのが、ちゃんと自分のなかで、単語は出来るんですよ、「ありがさまりょん(方言訳:ありがとうございます)」とか、「うがみんしょうらん(方言訳:こんにちは)」とか、でもそれをちゃんと文法に出来ないっていう自分のそれを、やっぱり近いところからじゃないと使えない、家族とかの中から練習していかないと、やっぱりそれを出す言葉がみんなに聴こえてるのは、ものすごく気になっています。

その中で私の一つの提案なんですけど、これ、いつも優子さん(パーソナリティー 中原)がおばあに聞いてるじゃないですか、「この言葉を方言に訳して」みたいな。で島ユムタ伝える会の山田薫先生とか、あの人は、それが丁寧語なのかっていうのが分かっている、ラジオにも慣れてる人達、だからこの逆バージョンをもし出来たら面白いなと思いました。例えばパーソナリティーの人たちが生徒になって、山田薫先生とかが先生で、「例えばこのキャベツはいくらですか」っていうのを、方言でじゃあしゃべってくださいみたいな、で自分達は予習出来ずに、そのままおばあが今やったみたいに、あつだんま(方言訳:いきなり)パツて言われて。「そんなこの言葉知らないんですけど」って思いながらそれを自分たちなりの方言でしゃべったときに先生、山田先生とかその島ユムタ伝える会の人達が、「これはこのときはこういう風に使うんですよ」っていうのをすると、今から習う人達が、あ、この言葉はこういうときに使うんだとかこの言葉は丁寧語なんだとか、逆に今からの子ども達を育てるには、おばあが使う言葉はどうしても上から下に使う言葉なので、私たち下から上に使う言葉を習っていかないといけないっていう世代では、逆にパーソナリティーの人達にはきついかもですけど、皆さんが生徒になって、その上の人達に先生っていうかたちで自分達なりの方言を使って、それがちゃんとした方言だったらこういうことになるんだよみたいな、で間違っって初めて、あ、こういうことだったんだっていうのがあると、自分達の次使うときにすんなり丁寧語を使って、例えば今日の奄美パークの人とかも、もし自分が方言で言ったら、もっと方言で返してくれてたと思うんですよ。島の人が大阪に住んでる人が大阪に行けば大阪弁、島の人言葉の言葉を聴けば島の言葉になるように、言われた言葉で返してくるので、もしこの方言っていうのに関しては、この逆のパターンを、英会話のOVA の逆パターンも作って見たら今の子ども達から若い世代には多分一番ありがたい番組になるんじゃないかなって思いました。

重田委員 なんかラジオ聴いて学べますね。

山田委員 はい。思いましたけど、こんな感じで。こういう話をもらったのでせっかくだから、と思って。

中村副委員長 素晴らしい。聴きたくなった。

一放送局 麓

いや、まさしく、ご指摘のとおりで。この5年間「島のことを取り扱っている」というレベルのものだったですね、だから、自分達がラジオを作ったときに「島に島を伝える」というので、まずこれが大事ですってことは提案出来たと思うんですけど、ちゃんと伝える、学んでいくとか、感化されるっていう部分で深堀りをしていかないといけないし、自分達も勉強していかなくちゃいけないのはあってですね、今後それが課題だなと思うので、参考にさせていただいて……。

その他、以下のような意見がでる。

- ・確かに、島ユムタの敬語、丁寧語は難しい、分からない。
- ・方言は古典だから、すごい種類があるのでどれを使っているのか、というのがある。
- ・目上の人に話すとなると、とたんに怖くなる。
- ・シマグチを使うために、ついついこちらがフラットになってしまうことがある。方言を使うことで“位置”が変わってしまうことがあるので、気をつけないといけないと思っている。
- ・自分も使いたいなと思いつつながら、聞くのはできるけど「しゃべるための勇気」がないというか、そういう勇気をもたないといけないと思っているのですが。勉強する場所があったら、勉強をして、使いたいなと思いました。
- ・今の 40～50 代は「方言をしゃべってはいけない世代」ですね。今こそ方言をどんどん使っていきたいという時代ですが、その年代の方々には、方言を使うと罰せられた世代なので。その時代にはむかって方言を使って、使える人が珍しい。それでも男性の方は、縦社会で目上の人たちと話すから、使う機会も多いだろうし、使える人が多いと思いますが、女性は、結婚したら家の中にいて、外の人との接触がそんなにないので、方言をそんなに使えない。八月踊りにしても島唄にしても 30～50 代で使える世代がガクッと減るのはそこだと思うんですね。聞き取ることはできてもしゃべれない、その機会をもらえなかったという世代の人達なので。その子供の子供になると、家庭のなかでも方言を使わない、ということになるので、本当に方言を日常でくいくと使うのは、70～80 代。私の親は 60 代ですけども、その世代がぎりぎり。私の母方の叔母は 60 代ですが方言を話せません、家庭の中になから。
- ・仕事でお年寄りと接する人は使う人が多い。若くても。介護施設の人は若くてもシマグチを使う人が多い。内地の先生などでも。「深呼吸してください」が伝わらないので、「ふういきしんしょれ〜(方言訳:大きな息をしてください)。」とシマグチを覚えて使ったりしています。内地から来た先生もその土地になじもうと一生懸命なのを見て、地元の人にはもっと使わなければと思うけれども、シマグチの難しさを知っているだけに使えないということ。あまみエフエムに頼って勉強みたいなのをさせてもらえればと思います。

一同 みんなで学びましょう。

(3) 次回の審議議題について

「英会話の OVA」について

一 放送局 丸田

夕方の生ワイド番組「ゆふいニングアワー」という、夕方 5 時半から 7 時までの 1 時間半、毎日生放送でお送りしておりますが、その中の 1 コーナーです。皆さんも、聞かれたことがあるのではないのでしょうか。今まで疑問に思っていたこととか、皆さんからご意見いただきたいポイントを挙げさせていただきました。今回のようにここに挙がっているポイント以外のご意見でもいいです。また今回、サンプル CD として、3 月 29 日、4 月 1 日、4 月 6 日の放送分が収録されていますが、毎日の夕方の放送で、リアルタイムでも聞いてもらえたら嬉しいなと思います。方言を使っておぼと中原が話をしているのですが、以前に番伺ったときには、島外出身の方はニュアンスすら感じとれないとのことで、みなさんとしては難易度としてはどの程度かなど、伺いたいなと思います。

次回の番組審議会が 6 月 14 日 金曜日、19:30 からに決定し、閉会する。

- 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
次回審議会までに改善に努める
- 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
- ① 自社放送:平成 25 年 5 月 11 日(土曜日)6:00～放送
 - ② 書面の備置き:平成 25 年 5 月 11 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
 - ③ インターネット:平成 25 年 5 月 11 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載
- 9 その他の参考事項 なし